

■小論文作成について

・ 櫛谷川まつりに参加して、スタッフの方々にヒアリングを行ったり、川祭りに携わる人たち(神戸市西区長、櫛谷町連合自治会会長、元櫛谷連合自治会会長(元福谷地区里づくり協議会会長)にヒアリングを行ったりすることは今までにしてこなかった経験だったので、大変為になったし、この経験をこれからも生かしていきたいと思った。

・ 小論文を書くスキルが全くと言ってなかったので、何がやりたいのかを明確にすることはできなかったかもしれないが、他の論文を読んだり、山崎先生に指導してもらったりすることで、論文とはどういうものなのかを理解することができたと思う。最初のころに比べて論文に関する知識が蓄えられたと思うので、今回小論文の作成に取り組めたことは、良い勉強の機会になったと思う。

・ 実際に現地に行って祭りなどのイベントに参加して色々な人に話を伺ったり、その土地の特徴(自然環境や文化環境)を詳しく調べて、他の地域との差異を明らかにしたり、行動を起こしたりすることで見えてくるものもあるんだなと実感することができた。

・ 時間が少なく、資料収集やヒアリングも十分にできていないので、不十分な所も多々あるが、自分の目的としていた結論についてはある程度まとめることができたのではないかなと思う。

■反省点

・ 西神ニュータウンと櫛谷町の位置関係図を入れたのはよいが、山や川などの自然環境があまり表現されているものでなくて、今回の論文に適した図面ではなかった。これからはどのような図面が必要であるかをしっかり吟味して、図を用いるようにしたい。

・ 論文の中で、ヒアリング等で得た客観的な情報と資料などから得た情報と自分の考えが区別されていなかった。そのためせっかく客観的な価値のある情報の価値が下がってしまった。次に論文を書くときは、しっかりと誰からの情報なのかを明記して、価値のある論文に仕上げたいと思う。

・ 最後にまとめとしての図を一つ入れたが、しっかりと自分の言いたいことが図に表れていなかったなので、わかりやすく簡潔な図を作ることが次への課題だと思った。

■今後に向けて

・ 参考になる本や論文の読んだ量が少なかったなので、もっと読む量を増やして、論文を書くスキルを上げていく必要があると感じた。

・ 先生や先輩たちからのアドバイスを参考にして今後取り組んでいきたいと思う。特に地図に関しては、扱い方に慣れていなくて不適切な図を用いてしまったので、その点を改善していく必要があると感じた。